



盛岡市プレスリリース

～輝きが増し 活気に満ち 夢をかなえるまち盛岡～

令和8年9月25日

盛岡市教育委員会事務局
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

開館15周年記念・企画展「盛岡藩領物産展 ―南部ブランドの底力―」を開催します

この度、もりおか歴史文化館では令和8年10月3日（土）から企画展「盛岡藩領物産展 ―南部ブランドの底力―」を開催いたします。

本展では、江戸時代の盛岡藩領の特色ともいえる産物について、それらの供給源となった具体的な地域と関連付けながらご紹介します。広大な盛岡藩領の実態の一端に触れ、その魅力と奥深さを感じていただければ幸いです。

記

【日時】令和8年10月3日（土）～12月14日（月）

10月：9時～19時（※入場受付は18時半まで）、

11月・12月：9時～18時（※入場受付は17時半まで）

【場所】もりおか歴史文化館 2階企画展示室（盛岡市内丸1-50）

【入場料】一般450円、高校生300円、小・中学生150円

【主催】もりおか歴史文化館

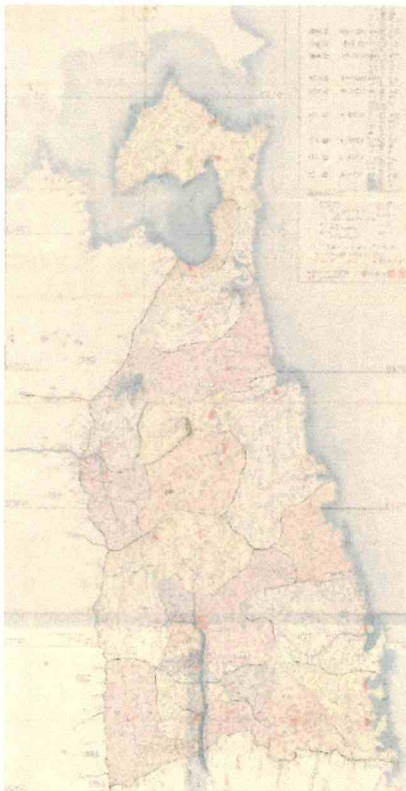
【関連企画】①ギャラリートーク：10月27日（火）、11月28日（土） 各日13:30～14:30

②れきぶん講座「盛岡藩領産物帳の世界」：12月5日（土）【要申込】

③盛岡藩領物産展 Real：10月3日（土）～12月14日（月）

※関連企画の詳細（日時、申込方法など）は当館公式ホームページ（<https://www.morireki.jp/>）、企画展のチラシをご覧ください。

【展示資料の一部】



盛岡藩領図



従公儀御尋之産物御領分中書上之留帳

【問い合わせ先】

もりおか歴史文化館

指定管理者：もりおか歴史文化館活性化グループ

担当：熊谷（くまがい）

TEL：019-681-2100

2026年

10・3

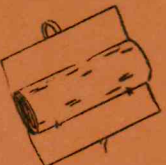
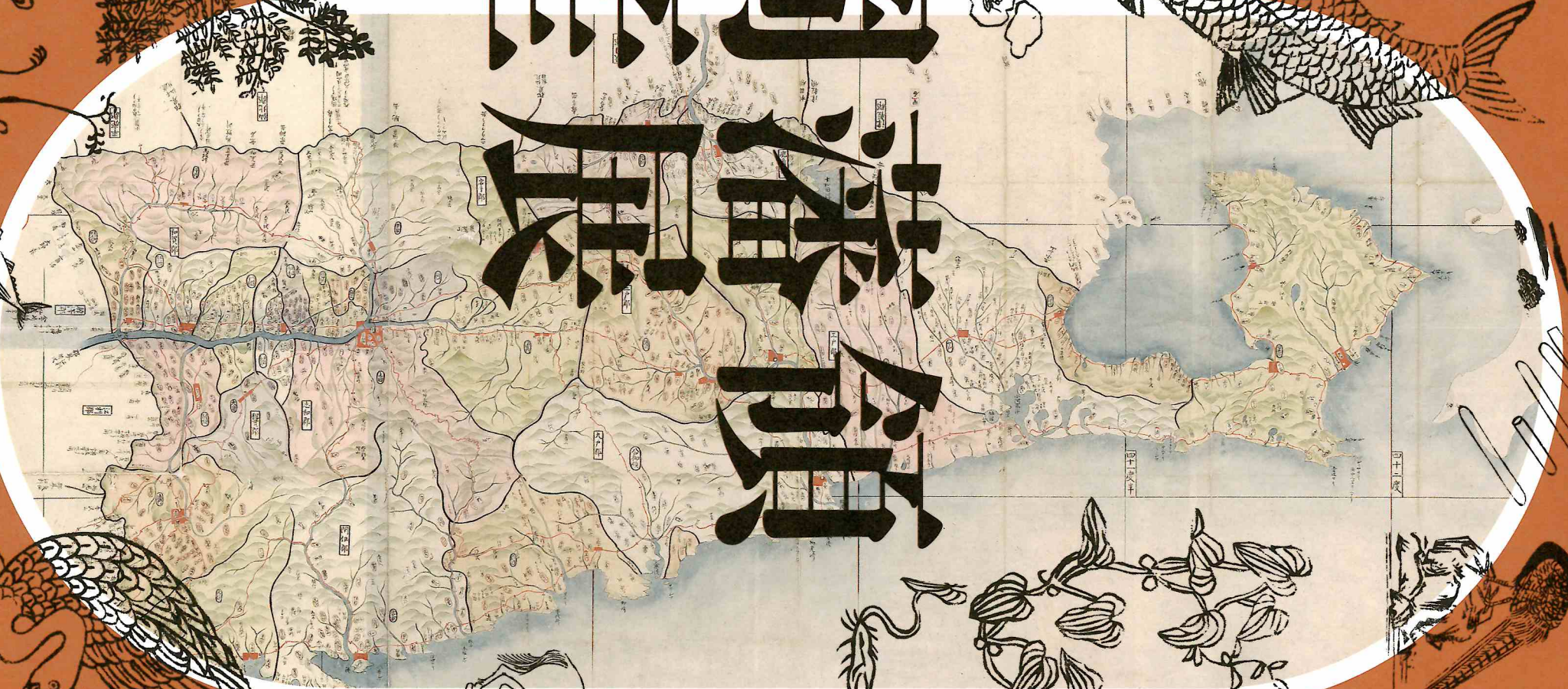
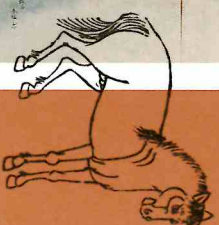
— 11 —

12・14

(月)

成岡藩展

南部ブナブナの底力



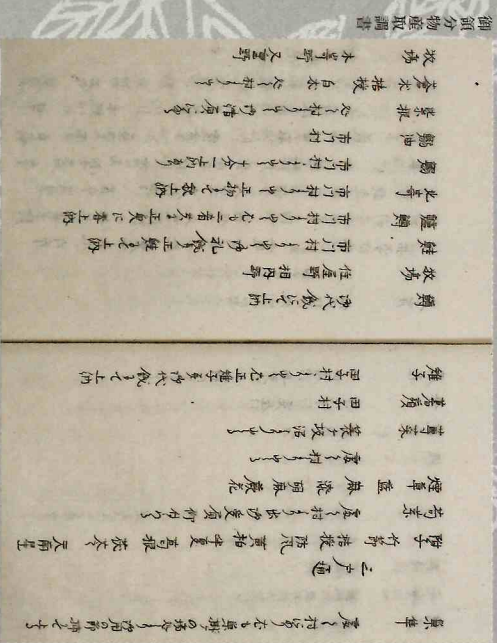
15TH

2011—2026

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel.019-681-2100 <http://www.morireki.jp/>

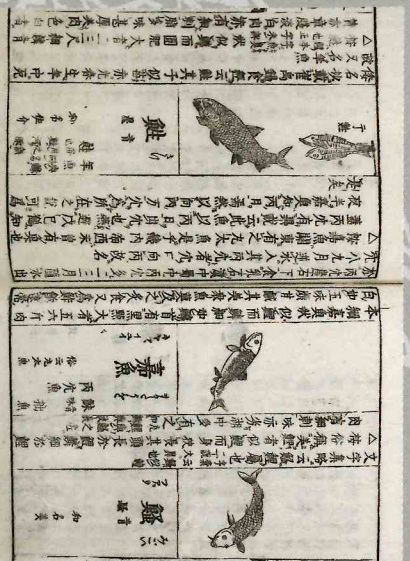
もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 成岡文化ター

会場／もりおか歴史文化館〔2階企画展示室〕
小中学生150円 団体20人以上は各2割引
観覧料 一般450円 高校生300円
開館時間 10月31日まで 午前9時から午後7時（入場受付は午後6時30分まで）
11月1日から 午前9時から午後6時（入場受付は午後5時30分まで）
※会期中の休館日は、10月20日（火）11月17日（火）
※関が原攻城お持ちの方や、小瀬川を渡る方（関が原いりこ）は無料
※小中学生のよう盛岡市在住就学の方は無料

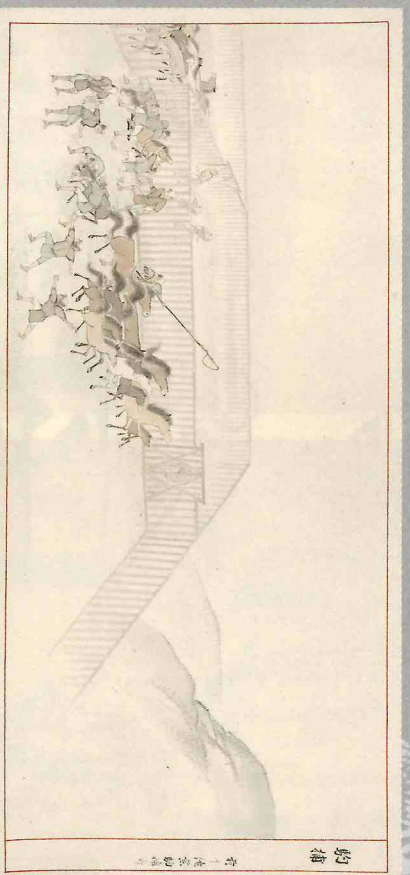


従公儀御参之産物御領分中書上之留帳

和漢三才図会



御旧領名所図巻(駒橋)



関連企画

①ギヤラートーク

- 内容／企画展担当学会員による展示解説
- 日時 令和8年10月27日② 13:30～14:30
11月28日③ 13:30～14:30
- 会場／当館2階 企画展示室
- 定員／なし(当日自由参加)
- 料金／展示室入場料が必要

②れきぶん講座「盛岡藩領産物帳の世界」

- 講師／企画展担当学会員
- 内容／江戸時代における産物の実態を今に伝える、盛岡藩の各種「産物帳」について、当館収蔵品を中心に丁寧に紹介し、その歴史的意義や史料価値を知る。
- 日時／令和8年12月5日④ 13:30～15:30
- 会場／当館1階 研修室
- 定員／30名 ＊事前申し込み制(往復はがきor応募フオーム)。

③盛岡藩領産産展 Real

- 内容／盛岡藩をより身近に、よりリアルに感じてもらうべく、旧盛岡藩領内各地の「現在」の土産や名産を販売。
- 期間／令和8年10月3日⑤～12月14日⑥
- 会場／当館1階 町なが情報センター(ミュージアム3F)



南部ブランドの底力

江戸時代、南部家が治める盛岡藩領は「比類無き広大無量の御国」(『盛岡藩家老席雑書』天保8年12月5日条)と言われるほど、広範な地域に跨っていたが、米の生産量を基にした石高は10万石(文化5年以降は20万石)であり、決して裕福な藩ではありませんでした。石高で経済力が示される江戸時代において、慢性的に脆弱な盛岡藩の経済を支えていたのは、広大な領内各地で産出・生産される様々な品物でした。これらの産物は時に「南部カタクリ」・「南部馬」・「南部紫根」のように、「南部」の名前を冠しながら全国の人々にも珍重され、盛岡藩が誇る名産品として認識されていました。このほかにも領内各地では、今ではあまり知られていない産物も含まれ、さまざまな品物を産出・生産し、藩内外に流通させていました。本展では、江戸時代の盛岡藩領の特色ともいえる産物について、それらの供給源となった具体的な地域と関連付けながら知っていただくことで、広大な盛岡藩領の実態の一端に触れていただければと思います。

現在でも盛岡では「南部せんべい」や「南部鉄器」のように、「南部」を冠する商品や店を目にする機会が多くあります。これは江戸時代以来の盛岡藩領、すなわち南部家が治めていた地域における諸産業への尽力の歴史と、それに対する地域の人々の誇りが込められているように感じます。本展を通じて、そのような歴史的背景とともに、かつての盛岡藩の産物が持つ魅力や奥深さを感じていただければ幸いです。

盛岡藩領産物展

展